

収入印紙  
500円分 × 相手方の人数

(書式2 申立ての理由が2つ以上の場合)

不動産引渡命令申立書	
事 件 番 号	平成・令和 _____ 年 (ケ)・(ヌ) 第 _____ 号
当 事 者	申立人(買受人) 別紙当事者目録記載のとおり 相手方
代 金 納 付 日	平成・令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日
申 立 て の 趣 旨	別紙申立ての趣旨記載のとおり (○で囲んだもの)
申 立 て の 理 由	別紙申立ての理由記載のとおり (○で囲んだもの)
申 立 日	令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日
名古屋地方裁判所民事第2部競売係 御中	
上記のとおり申し立てる。申立人(買受人)	
印	

\* 上記枠内に記入・押印(入札書と同じ印鑑)

収 入 印 紙	円	認	
予納郵便切手	円	印	

(受付印)

## 当事者目録

住 所 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

申立人(買受人)  
\_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

相手方 (所有者・占有者 )  
\_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

相手方 (所有者・占有者 )  
\_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

相手方 (所有者・占有者 )  
\_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

相手方 (所有者・占有者 )  
\_\_\_\_\_

## 申立ての趣旨

(相手方が、所有者又は物件全体の占有者の場合)

- 1 相手方らは、申立人 に対し、別紙物件目録記載の不動産を引き渡せ。
- 2 相手方 \_\_\_\_\_ は、申立人 に対し、別紙物件目録記載 の不動産を引き渡せ。
- 3 相手方 \_\_\_\_\_ は、申立人 に対し、別紙物件目録記載 の不動産を引き渡せ。

(相手方が物件の一部を占有している場合)

- 4 相手方 \_\_\_\_\_ は、申立人 に対し、別紙物件目録記載 の不動産のうち \_\_\_\_\_ を  
\_\_\_\_\_ を  
引き渡せ。
- 5 相手方 \_\_\_\_\_ は、申立人 に対し、別紙物件目録記載 の不動産のうち \_\_\_\_\_ を  
\_\_\_\_\_ を  
引き渡せ。
- 6 相手方 \_\_\_\_\_ は、申立人 に対し、別紙物件目録記載 の不動産のうち \_\_\_\_\_ を  
\_\_\_\_\_ を  
引き渡せ。

## 申立ての理由

申立人 は、前記事件において、別紙物件目録記載の不動産を買い受け、前記代金納付日に代金を納付した。

(相手方が所有者の場合)

- 1 相手方らは、上記不動産の前所有者である。
- 2 相手方\_\_\_\_\_は、別紙物件目録記載 の不動産の前所有者である。
- 3 相手方\_\_\_\_\_は、別紙物件目録記載 の不動産の前所有者である。

(相手方が物件全体を占有している場合)

- 4 相手方\_\_\_\_\_は、別紙物件目録記載 の不動産を何らの正当な権原なく占有している。
- 5 相手方\_\_\_\_\_は、別紙物件目録記載 の不動産を何らの正当な権原なく占有している。

(相手方が物件の一部を占有している場合)

- 6 相手方\_\_\_\_\_は、別紙物件目録記載 の不動産のうち\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_を何らの正当な権原なく占有している。
- 7 相手方\_\_\_\_\_は、別紙物件目録記載 の不動産のうち\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_を何らの正当な権原なく占有している。

(明渡猶予期間が認められた相手方が、賃料相当損害金を支払わない場合 )

- 8 相手方\_\_\_\_\_に対し、別紙物件目録記載 の不動産の使用の対価につき、相当の期間を定めて1か月分以上の支払を催告したが、相当期間内にその支払がなかった。

よって、申立ての趣旨記載の裁判を求める。